

平成24年9月5日

久慈市 市長様

特定非営利活動法人

廃棄物問題ネットワーク

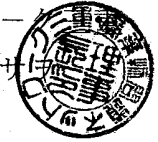
代表理事 吉田ミサ

〒518-0845

三重県伊賀市木興町1064-286

電話FAX

0595-21-3222番



突然のお手紙にて失礼致します。

久慈市長様を始め市民の皆様には、予期せぬ大震災後の厳しい暮らしが続いていることとお察し申し上げます。

さて 愚私は、昭和6年生まれの81歳老婆でございます。太平洋戦争を生き抜いて銃後を守り、田畑を耕し山や川を大切に 私たちの命も守られて一粒の米も捨てないで明るく一生懸命に生きました。神仏を信じ、あしたを信じ 生涯現役でふるさとを守り、次世代に引き継ぐ事が戦争で尊い命を落とされた方たちやご先祖さまへの御恩返しができると信じて「50歳代から、身近に起こった産業廃棄物問題と向き合いました」そして平成5年には「廃棄物問題ネットワーク三重」設立 平成15年1月にはNPO法人の資格を受けて古畳や墓石の大量不法投棄なども含め行政や業者を相手に全戦全勝の実績もあります。前置きが長くなりましたことをお許してください。

つぎに 三重県知事が「久慈市の震災がれき2000トン受け入れ要請が環境省からあったことを

新聞報道で知りました緊急で27団体 58個人の県民が必死に「子や孫たちにふるさとを残したい」思いで「がれき受け入れ反対」の決議文を三重県知事や 伊賀名張市長に提出

しています。三重県では「受け入れ態勢が全く整っていません。」去る9月1日松阪市長に1時間の面談を頂き 次のような実態を知ることができました。

(1) 松阪市長が現地視察の申請をしたときに「広域処理の必要がないので来て頂かなくても結構です」とおっしゃられた。

(2) 三重県知事が環境省に圧力をかけて2000トン持って来るようにしたのは知事の面目を守るためのある意味許しがたい暴挙

(3) 近隣の秋田県青森県は、受け入れ態勢が整っているのに 遠距離の しかも反対決議をしている三重県住民を無視して受け入れようとしていることには断固反対です。

上記3点について 大変心苦しいお願いですが、久慈市長様の文書でご回答を頂きますようによろしくお願い申し上げます。私たちはがれき受け入れ以外に久慈市復興に向けてでき得る限りの協力を惜しまないことを付記して市長様のご回答をお待ちしております

以上 よろしくお願ひします。